

### 第3回 能美市タウンミーティング

平成29年6月22日（木）19:30～21:30

辰口福祉会館

#### 【辰口地区町会連合会会長】

お昼のお疲れの中、たくさんの方にお集まりをいただきましてありがとうございます。

能美市が合併してはや12年がたちました。当初の計画とは若干違いも出てきていますが、皆さんが要望することは1つでございます。いろいろな課題もあります。そんな中で、能美市長が皆さんのご意見を聞く機会を持ってくださりました。中央小学校校下を半分に分け、宮竹校下の筋生、岩内を含む火釜から徳山までの集落を対象としたタウンミーティングの開催となりました。いろいろな課題が出されるものと思っておりますが、市長は聞く耳を持ちまして、皆さんのお話を聞いてくれます。その皆さんの声を市政に生かしていただきたいと思ひますし、このタウンミーティングが単発で終わることなく、継続性のあるものになって実のあるものになることを願っております。

#### 【司会】

それでは、次に、井出市長がご挨拶を申し上げます。

#### 【井出市長】

日中のお疲れのところ、こんなに大勢の皆様にお集まりいただいたことに、まずは御礼を申し上げます。

タウンミーティングの実施を選挙の公約で皆さんにお誓いをさせていただきました。5月26日の第1回を皮切りに、きょうが3回目です。市内には、74の町会・町内会があり、12のブロックに分けて開催させていただきます。並行してテーマごとのタウンミーティングも開催して、本年度は24回したいと思っておりますし、ことしで終わることなく、来年も再来年も続けていきたいと思っております。

まず、このタウンミーティングの位置づけですが、私の政治信条である「現地現場主義」、「市民ファースト」、これの礎となるのがこのタウンミーティングです。皆様からいただいたご意見やご要望をしっかりと市政に反映させていくために、タウンミーティングを開催し、私自身が現地、現場に赴くということです。

能美市の最大の課題は人口減少です。昨年10月に能美市は人口5万人を超えましたが、現在では5万人を切っています。その後、25年後には2,700人減少し、高齢化率は約25%か

ら32%になると予測されています。それをいろいろな政策を進めて、1,200人の減少にとどめ、4万8,800人にしようと計画しています。

そのために、きょう皆様からいろんなご提案をいただき、10年後に向けて能美市の魅力を発信、発掘していきましょうということでもあります。魅力を発掘、発信をしていくことで移住、定住を促進します。いわゆる少子化でお子さんが生まれる数が少なくなっています。そうすると、能美市外からたくさん移り住んでもらう、能美市にずっと住んでもらう方を維持する必要があります。そのために、この能美市の魅力を発掘、発信をしていかなければなりません。また企業誘致、地場産業の振興が必要です。住みよいというだけでなく、働き口がないとだめだということがあります。そして、地場産業を振興させる企業誘致を進めるということは、いわゆる市政の財源を確保していくことでもあります。

そして、ふるさと愛の醸成ということです。辰口中学校、県内の高校を卒業し、首都圏の大学に進学し、そのまま首都圏の企業に就職しようかなと思っている子供たちに戻ってきてもらうため、能美市というのは大変住みやすく、また皆さんが学校で学んだことを生かせる企業がありますといった魅力を発掘、発信をしていくということです。

能美市の魅力について、私が考えている魅力を紹介します。実は、能美市のポスターと動画を能美市大成町出身のアサヒビールのコマーシャルをつくったアートディレクターの藤田誠さんという方と能登町出身の写真家梅佳代さんにつくってもらいました。

お二人は、能美市の魅力というのは子供たちの笑顔だろうということで、このような作品をつくってくれました。子育てしやすい環境や暮らしやすさを象徴するのは、子供たちの笑顔だということです。私も動画、ポスターを見て子供たちの笑顔のためにも頑張らないといけないと思った次第であります。

私が考えている能美市の魅力というのは、子育て環境、福祉医療制度が充実している、自然景観がすばらしい、自然災害が少ない、それから、84平方キロメートルしかなくコンパクトであること、町会・町内会組織がしっかりしていること、これは大変ありがたいと思っています。74の町会・町内会長さんがいらっしゃいまして、たくさんの仕事をいただいています。そのおかげで能美市政の運営ができており、感謝しております。

そして、文化、各種団体の活動が大変盛んであり、辰口福祉会館や公民館を予約しようと思ってもなかなか予約できないぐらい活動をされています。地域のコミュニティも深まり、そして勢いも増すということでもあります。

ものづくりのまちということで、多くの企業があります。それから、交通アクセスが充

実しており、来年の3月には能美根上スマートインターチェンジができます。加賀産業道路を使って金沢駅まで30分、小松空港まで15分で行くことができます。交通アクセスがいいということは、企業にとっても物流の利便性が高く、市民にとってもいろいろなところに気軽に行けるということがあると思います。

特産品には、ゆず、ハトムギ、地酒があります。観光資源では、辰口地区であれば温泉、動物園、里山、七つ滝、天狗壁などがあります。

それから、JAIST・寺井高校があります。それから、各種ランキングが上位であります。住みよさランキングは一昨年が3位、昨年が10位、ことしは9位になったということで、これも魅力だと思います。ほかにもたくさん魅力があり、それぞれ皆さんの中でいろいろなことをお持ちだろうと思います。

いいことばかりではなく、課題もあります。厳しい財政状況ということで、日本全国同じことですが、福祉費の比率がどんどん高くなっています。また、アセットマネジメントと言いまして、既存の設備が老朽化をしていくので、その更新をしていかなければならないということがあります。上水道管は、今から直していくと100年かかってしまいます。能美市内に張りめぐらせており、また、道路、橋も50年ぐらい前にできたものが多いため、それらを順次かえなくてはなりません。

それから、高齢者の足の確保について、これは多くの皆様から何とかしてほしいという声をいただいています。きょうのタウンミーティングの議題にもあります。

それから、広域連携の強化ということで、人口減少になってくると、能美市単独では行政サービスが行えないということが出てきます。隣接する川北町や白山市や小松市と広域連携をしっかりと強化して行って市民サービスを維持していかなくてははいけません。

能美市の魅力を発信、発掘をするということをシティプロモーションと言いまして、23個例を挙げたいと思います。市役所の1階入ったところに市民ギャラリーがあります。今までも九谷焼などを並べていましたが、能美市の企業でつくっているものや特産品を並べて市民の皆様、県外のお客様にそこに来ていただき、能美市にはこんなものがあるのだと見て感じていただきたいと思っています。

それから、能美市内にあるトラック業者のトラックの後ろに広告をデザインしてもらい、そのトラックに全国を走ってもらって能美市のPRをしてもらおうということも考えています。それから、「広報能美」5月号から各町の魅力、自慢話というのを始めています。そこに町会長さんに登場していただいて、自分の町の魅力を市民の皆さんに伝えてもらお

うという企画も始めています。

以上が私のお話でございまして、これから皆様と色々なディスカッションをさせていただきたいと思います。

#### ①適正な土地利用について

##### 【司会】

最初のテーマは「適正な土地利用について」です。ご提案、ご意見のある方、挙手をお願いします。

##### 【山田町民】

辰口全体をとらえたテーマといたしまして、適正な土地利用計画について質問します。まず、東部地区にありますいしかわサイエンスパーク、これを取得してから現在までの状況について質問します。当時、県が取得し土地開発公社が造成し、現在は県の所有となっています。企業誘致を図っていましたが、ここ10年ほど全く企業の進出がない状況です。ただ、県と地元能美市の誘致協議会があるのに、課題を解決する努力が現在もなされているのかという疑問があります。簿価の引き下げという工夫を検討されているのかどうかということです。

それから、あそこは研究所等の立地という、大きな課題がありますので、条件の緩和が図られているのかどうか。それから、住宅用地があったはずですが、民間活力の導入等を加えるといった工夫ができないかどうか、調査、研究がされているのか参考までにお聞きしたいと思います。

能美市の企業誘致がかなり進んでおり、市の工場用地がほとんどなくなっている中で、サイエンスパークはぼっかりと穴が開いたようになっています。場所がありながら企業が立地しないという状況もあるので、県と協力しながらどのようにしていくのかお聞きしたいと思います。

それから、もう一点は、公共施設の統廃合計画がほぼ終了し、現在、辰口地区では宮竹保育園、岩内保育園、辰口フラワーハウスの跡地があります。

まず、その中で宮竹保育園は一部倉庫として利用されていますが、旧北日本産業跡にも市の倉庫があることも絡めてどうなるのか。

それから、岩内保育園の跡地は更地ではありますが、現在農協の店舗の建設のための貸し駐車場となっております。これが将来、隣接の雇用促進住宅と関連性があるのかなのか

ということも聞きたいと思います。

それから、フラワーハウス跡地は加賀産業開発道路沿いに廃墟みたいな感じであります。さまざまな課題があると思いますが、用地交渉状況について今一步進んだ話が聞ければと思っています。

それから、博物館、学習会館の跡地の問題です。今年度計画されると聞いていますが、立地状況を見ますと、崖に学習会館、博物館が建っています。この跡地の状況をどうするのか、隣接する個人の土地にも同じ崖があります。現段階でどういう計画になっているのかお知らせください。よろしくお願いします。

#### 【井出市長】

まず、JAISTの周辺の話についてです。私は県会議員時代からも含めて、本当に関心を持って取り組んできました。県も市も、今まで何もやってこなかったかと言うと、一生懸命やっていたということは間違いありません。実際に進出を検討してきた企業も幾つもありましたが、最終的には合意に至っていないということで、引き続き取り組んでやっていくということです。

今まで、筑波の学園都市を見にいきましたし、先月は奈良県にある先端大の周辺も見にいきました。その取り組みをこのJAISTの周辺でも取り組めないかということで、今もいろいろなことを考えています。

具体的に、簿価をどうするかということですが、実際に簿価を下げるということよりも、進出していただいた企業への助成金や支援をして、少しでも進出意欲を高めていただくことが必要だと思います。条件の緩和ということになると、例えば、学校周辺であるので、爆発物をつくるといった会社には進出してもらえません。しかしJAIST周辺は、津波のリスクも少なく、大きな地震が起きても丘陵地なので影響が少ないところです。もっと言えば、JAISTという大学とどうやって連携をしていくかという強みをさらに訴えていって、企業を誘致することを進めていきたいと思っています。

それから、宮竹保育園に関しましては、何件か再利用したいというお申し出をいただいています。いろいろ分析をしながらどこの会社、団体に使っていただくのがいいのかということを経営的に判断したいと思っています。

それから、岩内の保育園の跡地に関しては、町内の会議で協議をいただき、民間売買することで理解いただいているというふうに私は把握しています。雇用促進住宅との関連ですが、雇用促進住宅は国の持ち物であり、ことしの7月に入札をする計画であると聞いて

います。雇用促進住宅の運営者は新しい人を入れないという条件で、どこかに売買をしたいという思いがあるようです。能美市とすると、そこをどうこうすることができないので、今のところ岩内保育園の跡地だけを将来的に何とかしていきたいという思いがあります。

それから、フラワーセンター跡地についての回答は、議会で答弁した以上のものはなく、能美市として再利用させていただけるように、土地の保有者の方に引き続き交渉を進めていくということです。

それから、博物館の跡地について、跡地周辺に辰口中央児童館をつくる予定です。辰口中央児童館、図書館をご利用の方の駐車場を確保したいと思っています。

#### 【司会】

別のご提案、ご意見、ある方、いらっしゃいませんか。

#### 【岩内町民】

岩内町では、平成24年に住宅団地、商業施設誘致事業の話が進められたことがあります。その際の趣意書というのが残ってしまっていて、それには、「均衡ある能美市の発展は東部地域をいかに活性化するかが大きな問題である。その解決策はまず定住人口と交流人口の増加が必須である。しかし、人口を漫然にふやすのではなく、環境面の条件が整っていなければ活性化につながらない。幸い、東部地域を通過、交流し、加賀地域の発展を担ってきた加賀産業道路の平成25年4月1日無料化に伴って、交通量がこれまでの3倍に増加するなど他市町においては地域活性化策の方向転換が予測される。東部地域においては、この機会をチャンスととらえて他市町に先駆け、今後能美市まちづくりの均衡ある発展の起爆剤として住宅団地、商業施設の誘致に早急に積極的に押し進めることが緊急かつ最大の命題である。」とあります。

私が言いたいのは、今後の地域の発展というものを考えたときに、もちろん、非常に農地の活用が大切だということは理解していますが、東部地域においては住宅地も重要だと思っています。ごく限られた、分散された住宅地ではなく、ある程度の面積を持った住宅団地、商業施設が必要だと考えていますが、市長のお考えをお聞かせください。

#### 【井出市長】

私も川北大橋を渡ったあの周辺エリアは大変発展する要素がある魅力ある土地だろうと思います。川北大橋が無料になり交通量もふえていますし、金沢まで30分で行けます。ただ、あのエリアを開発するには、大きな2つの課題があります。

まず一つ目は農業振興地域だということです。あのエリアは、特に優良な農地であり、

開発することは大変難しいということです。

2つ目は、商業地というお話がありましたが、近隣にはスーパーやホームセンターがあります。大規模な商業施設は、能美市が運営するものではないので、どこかの会社にしてもらわなくてはいけません。近隣に大きなスーパー等が既にある場所に出店してもらえるのかということもあり、一歩進めないという状況でございます。

それから、住宅地のお話がありました。能美市は人口が減っていくという傾向の中で、大規模な住宅地を今の状態で作ってもなかなか住む人はいなのではないかと思います。ただ、将来的に大きな企業が能美市に進出し、多くの従業員の方が勤めることになったときには、勤め先の近くに宅地が造成されることは魅力があるのだろうと思います。そういったときには宅地を造成していくべきだと思いますが、今ほど申し上げた大きな課題があるので、それをいかにクリアしていくかということがこの問題を解決していく策なのだろうと思います。

## ②公共交通の充実

### 【司会】

「公共交通の充実」について、ご提言、ご意見のある方はいらっしゃいますか。

### 【来丸町民】

一番気になるのは、コンビニに突っ込んでしまう、逆走してしまうなど全国的に高齢者の交通事故が非常に多くなってきたということです。

免許証を返納するのには、幾つかの理由があると思いますが、1つは、やっぱり本人の自覚だと思います。判断力も悪くなり、安全な運転もできないと、自覚を持って返納する方もいるし、家族から、もう運転やめておけと言われて嫌々返納する方もいると思います。足腰、手足が十分に動かなくなり、やむを得ずという人もいると思います。

75歳以上になると、免許証更新のときに認知症の検査があります。この前見た数字では、75歳以上の人で免許証更新した430人のうち、120人が病院で検査を受けてくれという結果が出たらしいです。

恐らく免許証を取られたということになると、手足が取られるのではないかとというぐらいの気持ちだろうと思います。免許証を返納された近所の方は最初、車椅子のような電動の四輪車で買い物に行ったり、病院に行ったりしていたと思います。最近ではのみバスに乗ろうとするのですが、うちから歩くと結構遠いので、やむを得ずその電動車を使って公民

館まで行って、公民館の近くにあるバス停からのみバスに乗るということとしています。大変だなといつも見えています。この辺は公共交通としては北鉄バスがあり、金沢や小松にはすぐ行けるのですが、のみバスを利用しようと思ったときには、利用している人の話を聞いてみると、バス停まで非常に遠いとのこと。車に乗れない人というのは、足腰が弱ってきているはず。のみバスは幹線道路しか走らないので、バス停が遠く非常に大変で困っているということです。また、バスのステップが非常に高く乗りにくいということも聞きます。また、定期で走っているのに時間にも制約されます。そういうこともあり、のみバスは便利なようで便利でない、小回りが利くようで小回りが利いていないと思います。私は1回も利用したことないですが、高齢者の方に聞くとそういうことをおっしゃっています。バス停は変更できませんし、バスを町内に入れるというわけにはいかないですが、ただ、以前北鉄バスフリーバスというのがありました。走っている路線の途中で手を挙げるとそこで停車し、また合図すると降ろしてもらえるものでした。停留所以外で停車してくれたバスもありました。ステップの高い低いという物理的なものは直そうと思えばいくらでも直ると思います。時間的な制約も、本数をふやせば多少は緩和されると思います。そういうことを考えていかないといけないと思います。

以前テレビで見たのですが、山陰の過疎地だったと思います。そこは過疎地になってしまっただけでバスがなく、タクシーもなくなり、足が全くなくなっていました。その地域ではNPO法人を立ち上げ、個人の自家用車と契約し、電話を受けたときにそれを配車して送迎をするということをしていました。そういうものが能美市にもあるということで社会福祉協議会に問い合わせました。まず、「ア！これ、たすかるわ〜」というパンフレットを持ってきていただきました。これを見ると、能美市の中には支援がいっぱいあります。その中に、泉台の「えんがわ」というNPO法人がありました。その活動の中に送迎があるのですが寺井地区限定であり、このような活動が発展すればいいなと思いました。

せっかく能美市が全国で住みよさランキング9位に選ばれたということで、本当かなとは思ったのですが、9位から8位にするには、やっぱり住みやすいことをしていかないといけないと思います、のみバスの改善やNPO法人の活動といったことをよろしく願いしたいと思います。

#### 【井出市長】

まさに、ご指摘のとおり、本当にのみバスに関してたくさんの方からご意見をいただいています。実は、本当にのみバスに関しては研究調査を重ねてきています。皆様にアンケート

ートをとったり、実際にバスに乗って、乗っている人から声を聞いたりして、今のルートやダイヤを決めています。しかし、皆さんからこのようにご要望、ご意見をいただいているのも事実です。

停留所まで歩いていくは大変やっかいであり、もう少しうちの近くにとめてくれないかとおっしゃった方もいます。その方に申し上げたのは、もし、ご要望があれば、ご自宅の前まで行くことは可能です。しかし、そのような方が10人いれば、今まで目的地に行くのに30分で着いたところが1時間とか1時間半かかってしまうということです。結局、多くの皆さんのご意見を聞くと、利便性が落ちてしまうというのが現状だろうと思います。

地域での助け合いみたいなことを「えんがわ」さんという団体がやっていることは間違いありません。これは能美市泉台町を中心に行っているグループであり、能美市内の中に同様の取り組みをしようという団体が2つ、3つ、出てきています。その団体の方に公共交通機関としての役割を担ってもらえるようにどう相談、助成をしていけるかということが、次の大きな課題だと思っています。

ただ、この公共交通機関というのは法律の制約がたくさんあり、乗客の安心安全をどう確保していくかということがあります。全国的に交通弱者をどう救っていくかということで取り組みが始まっています。そのようなこともいろいろ見ながら、高齢者の方にも利便性を感じてもらえるよう、公共交通機関を研究していきます。ここで、公共交通の課題解決方法について即答できないのですが、皆さんからよくなったと言っただけのように考えていきたいと思っています。

#### 【司会】

では、次の方をお願いします。

#### 【出口町民】

日ごろの生活の中で交通安全に関して思ったことを話したいと思います。新設の道路をつくったときは安全対策もきちんとされて、開通しております。しかし、補修に関して、例えば、消えている白線および表示線を引き直してほしいと思います。それから、交差点で右折する車が、停止線で止まっている車（右折した先の対向車）にぶつかりそうな場面が多いです。それから路側帯の線がほとんど消えている、また、路側帯がとても狭く歩行者、自転車にとって危険だと思っています。今後、補修する場合、もう少し安全対策をきちんとしてほしいと思います。

それから、道路の修復に関しては土木課ではなく交通安全協会およびそこに関連する課が対応するほうがいいのではないのでしょうか。

大きな事故にならないうちに早めの対策をお願いします。

**【井出市長】**

きょう、現場を見にいってきました。確かに、線が薄いという印象があります。センターラインに関しましては、車の蛇行等も心配です。今年度中に引き直しできるように、予算組みをして対応していきたいと思います。

もう一つ、路側帯の線について、実はこちらは道路の補修に合わせて線を引くようにしております。道路の状態を見たのですが、確かに少しは傷んではいます。しかし能美市内にほかにもたくさん傷んでいるところがあります（のですぐに対応するのは難しいです。）

また、能美市の組織の話からしますと、警察・交通安全の担当は生活環境課になりますが、補修等の道路の維持管理していくのは土木課の仕事であり、白線が消えている、道路が傷んでいるというのは土木課が担当となります。しかし、線の引き幅を変えてほしいということになると、これは市単独ではできません。歩行者だけでなく車の安全も考えなくていけないので、警察と相談しながら対応していきたいと思っています。

**【上徳山町民】**

上徳山町も白線の状態を見ていると、産業道路、また温泉街周辺は消えても直ぐ対応されており、きれいに引かれています。しかし、白線が消えて、何年もたっているのに一向に白線を修正しないところもあります。以前はそんなことはなかったと思います。予算の面もあるため、すぐというわけにはいかないと思いますが、消えてしばらくたったら引き直していただきたいなと思います。

**【井出市長】**

おっしゃるとおりです。まず、道路というのは県道と市道があります。県道は県が管轄しています。市道は能美市が管轄をしているという違いがあります

私も通っていて、薄いなと思う箇所があります。全部きれいに引ければいいのですが、どうしても予算があるため、全部きれいに引いていけない状況です。市だけに限ったことではなく、県の道路も全体的に薄くなっていることは間違いありません。

引き直しはどうしても幹線道路や交通量が多いところが優先的になってしまいます。お

住まいの近くの道路の白線が薄くなっているままであることは、大変申しわけないですが、順次引き直しているということで何とかご理解いただければと思います。

**【辰口町民】**

公共交通の充実として、のみバスの充実が難しいというのは何となく理解できました。のみバスは高齢者が使いにくいということもありますが、私としては、高校生もそうだと思います。寺井高校や金沢方面、小松方面に通う高校生がたくさんいると思います。根上駅に行くときにのみバスを使うとなると、朝早かったり、時間が合わなかったりで、結局親が送っているという現状なので、もう少し本数をふやしてほしいと思います。のみバスを使いたいと思っているのは高齢者だけではなく、高校生もいるということを知っていてもいいと思います。

**【井出市長】**

それは重々にわかっておりまして、のみバスの利用者で高校生が何人いるか、どこの停留所で乗ってどこでおりるかということも把握をしています。高齢者だけではなくいわゆる交通弱者と言われる方、まさに高校生やほかにも通勤で使われる方もたくさんいます。そのような方たちも含めて、皆様の利用度が上がるような、そんな公共交通機関を考えていきたいと思っています。

**③観光・市のブランド化について**

**【司会】**

次のテーマは、観光・市のブランド化についてです。

**【火釜町民】**

観光と市のブランド化ということで、能美市には辰口、寺井、根上と3地区ありますが、それぞれに素晴らしい観光地があります。その観光地の特徴を生かした取り組みを一生懸命しているのか、観光客を誘致する活動をしているのかお聞きします。

例えば、辰口地区にはいしかわ動物園、丘陵公園、辰口温泉といった知名度の高い観光地、行楽地があります。ところが、ここ数年、皆さんのお話を聞いてみると、観光客は、いしかわ動物園あるいは丘陵公園に来て見て、遊んでそのまま帰ってしまいます。

そこで、観光した後に、近くで一休みできるような施設の検討をお願いします。例えば、道の駅、そこで観光マップや観光ガイドなどを提供する。道の駅があることによって七ツ滝、蟹淵の紹介、あるいは、特産物のゆずの紹介等、いろいろできると思います。それに

よって、ブランド力を高められるのではないかと思います。

皆さんご存じでしょうが、加賀産業道路沿いに和気の岩がある「美知の駅」というものがあります。果たして、これを生かしていらっしゃるのか。自動販売機や駐車場があり芝生もはってあります。この現状を生かして道の駅として検討することができませんかということです。

行楽の帰りに寄り道ができて、さらに辰口地区にはこういうものがある、能美市というのは観光地がまだほかにもあるということを皆さんに認知していただければ、さらに観光、市のブランドというものを高められるのではないかと思います。皆さんが来られて、「はいさようなら」で辰口地区を去っていくのではなくその辺りでもう一回、能美市、あるいは辰口地区を見直すことができる施設を検討していただければと思います。10年後を期待したいなという話です。

それと、のみ商業協同組合が出している商品券、ポイント券を利用できる加盟店が辰口地区には極端に少ないです。余りにも少なすぎるような気がします。もちろん、3地区それぞれに事情があるとは思いますが、組合では加盟店をふやすためにいろいろ努力はしていると聞きます。市としても何か支援できるような方法がないでしょうか。

### 【井出市長】

まず、観光の話ですが、例えば、いしかわ動物園については北陸新幹線が開業したときに、どんな位置づけにするかという話がありました。首都圏からたくさんの方がいしかわ動物園にも来るのではないかと、しかし上野動物園がある東京の方が、本当にいしかわ動物園に来るのか議論になりました。まさに、観光というのはターゲットをどこに置くかということだと思います。ただ、今までは近隣に住む家族連れのお客さんが多かったのですが、最近はトキが飛ぶようになり県外から高齢者の方がたくさん来るようになった。そうすると、また攻め方が違うと思います。

休憩場所として、例えば、温泉でも入ろうかと言って辰口温泉に行かれるかもしれない、その後に、九谷焼の陶芸体験をやってみようという方もいるかもしれません。既存の観光資源を点としてではなくマッチングさせて、面と群として発信をしていくことが必要だと思います。その一つがシティプロモーションということで能美市の観光資源を県内外にどんどん発信していきたいと思います。

また、観光ビジョンの見直しをしようとしています。5年前につくりましたが、その中

には日本に来る外国人が2020年の東京オリンピック、パラリンピックの影響で2,000万人から4,000万人になるということ、2023年に北陸新幹線が小松駅、加賀温泉駅に開通することを取り込んでいません。それから、2023年には能美郡というこの地域の区分けができて1,200年に当たるということで、このエリア一帯でお祭りもやりたいという思いもあります。観光ビジョンを見直し、能美市の魅力をもう一回掘り下げ、発信をして、交流人口をどんどん拡大していきたいと思います。

それから、のみ商業協同組合について調べたところ、平成29年5月現在でののみ商業協同組合の商品券取扱店が能美市内で95軒あるそうですが、辰口地区は7軒しかありません。このままではいけないと思っています。そこで能美市内に新たに住まわれた方、結婚された能美市民の方に商品券をプレゼントするということを始めようと思っています。能美市内の商店にまずは足を運び、お店の人と話をしてもらい、おいしいもの便利なものがあるということ、能美市の魅力を結婚した人、移住をしてきた人に再認識、新たに発見してもらいたいと思います。そして能美市内の商店のリピーターになってもらいたいと思います。それによって、辰口地内の商店さんも、登録しようかなと思ってもらえると思います。

#### ④子育て支援の充実について

##### 【司会】

次は、子育て支援の充実についてです。

##### 【倉重町民】

まず、中央児童館の建設について、お尋ねします。博物館と学習会館、それから、消防辰口分署の建屋の解体が今年度中に終わり、平成30年度に児童館が着工する予定と聞いています。そのスケジュール、完成までの行程を教えてくださいと思います。

それから、単なる児童の預かりではなく、いろんな人の交流の場になるような児童館にしてほしいです。特に高齢者との交流は地域の文化、歴史に触れる機会ができると思います。また、教育、道徳を学ぶことができると思います。

地域はもとより、地区、市民が広く交流ができる場であってほしい、そのためにもアクセスの充実を望みます。

5枚の子供の笑顔のポスターには「能美市で暮らす子供たちが住みよさの秘密を教えてくださいました。一度、訪れてみてください。」と書いてあります。自慢のできる児童館の建設を切に願います。

**【井出市長】**

自慢ができる児童館になるように今一生懸命取り組んでいるところです。

まず、スケジュールですが、平成30年に建設を始め、平成31年5月の開館を目指しています。アクセスに関しては、現在通り抜けできないところを、できるようにする計画でございます。

児童館の中身に関しましては、市内の多くの児童館を参考にして皆さんにご満足いただけるような児童館にしたいと思っています。

そして、高齢者とのかかわりを充実させるというご指摘もありました。能美市内の既存の児童館では、高齢者の方に児童館に来てもらい、子供たちとぼたもち、押し寿司をつくったり、餅つきをしたりといったいろいろな活動をしていると聞いています。辰口中央児童館竣工の折には高齢者の皆さんにも多く来ていただけるよう、ハードだけではなくて、ソフトの充実も図っていきたいと思っています。

**【司会】**

このほか、子育て支援の充実についてありますか。

**【岩内町民】**

先ほど、のみ商業協同組合の加盟店が辰口地区で7軒という話がありましたがまさに少子化が原因だと思えます。何軒のお店がなくなってきたか、1回各町会の方に聞いてみてください。

能美市の中でも旧根上、寺井、辰口はそれぞれで置かれている現状、立場は違います。特に、寺井はどっちかと言えば増えています。減っているのかもわかりませんが、その減少の程度は非常に軽いと思えます。辰口地区はどうでしょうか、要は地域としてそれぞれの対策が必要だと思えます。能美市は住みよさランキング9位ですが、人口は減少する予想です。

先ほど岩内町の方から住宅地区、商業地区の開発について意見、提案が出ました。これについては以前にも要望しましたが市からは却下と言われました。今回も市長のご返答も非常に難しいとのこと。現状では開発が難しい、できないということは理解できますが、やらないと人口は減っていきます。宮竹小学校の児童は我々の時代と比べて減少しています。私は5年、10年、20年単位の未来のことを考えて意見書を書きました。きょう明日に結論がでることは一切考えていません。人をふやすには、移住してもらうか、赤ちゃん

を産んでもらうかこの2つの方法しかありません。市長が掲げられたのは移住してもらうことですが、なかなかしてもらえていない。近くの川北町は若い人が若干ふえていると思います。参考にはなるのではないのでしょうか。

子供を何とかふやすためには若い人をふやす必要がある。そのために働く場所・住宅がいります。私は全ての政策をそこに集約するような、組み立てができないかと思います。

人口は減少していくと予測されていますが、最低でも横ばい、人をふやすという少子化政策を進めていってほしいと思います

#### 【井出市長】

おっしゃるとおりだと思います。まず、確かに宮竹小学校校区は子供が少ないのです。平成25年の合計特殊出生率は能美市全体で1.67です。ところが、宮竹小学校校区は1.48で、能美市内の8小学校校区の中でなぜか一番少ないのです。ただ、私は宮竹校区が住みにくいとは一切思っておりません。小学校が近く、保育園が新しく、働き口がたくさんあり、金沢まで25分で行けます。若い人たちがそこにずっと住んでいitくなるような、環境だと思います。

そして、人口をどうやってふやすかということですが、少子化をいかに解消させるかということだと思います。

少子化の原因の1つに未婚化、晩婚化があるとされています。それを解消させようということで婚活をしようとしています。そして、希望どおりお子さんを産んでいただけるように、子育てする環境整備に取り組んでいます。

そして能美市全域でも同じことがいえます。私は能美市寺井町の出身で、寺井町はふえているように見えますが、うちの近所では高齢者が多く、同居している家が少ないです。新興住宅街をつくと旧の市街地の人口がどんどん減ってしまいます。やはり旧の市街地の中で一緒に暮らしていくことが最終的にそのまち全体の勢いになるのだらうと思います。例えば、足がないと高齢者の方が困っているときに、若い人たちが近くに住んでいれば乗せていくことができます。おじいちゃん、おばあちゃんがそばにいれば、自分が子育てをするときに面倒を見てもらえるし、相談をすることができます。

少子化は宮竹校区に限ったことではなく、能美市全体の問題、日本全体の問題であると思います。そんな中で、能美市の魅力をどんどん発信をしていく必要があります。交流人口の拡大、企業の誘致をしなければならないということで、いろいろとご指導、ご鞭撻をいただければと思います。

## ⑤学校教育の充実

### 【司会】

次のテーマは、学校教育の充実についてご提案、ご意見はありますか。

### 【湯屋町民】

学校のクラブ活動に関して、現状、先生方の勤務時間が非常に長く、大変だということ  
は報道されておりよく分かっていますが、運動部、文化部に限らず中学生が有意義な経験  
を積むためにも（日曜を休みにせず）クラブ活動の充実をお願いできないでしょうか。

### 【井出市長】

クラブ活動について、日曜日を休みにしないほうがいい、休みにしたほうがいいという  
両方の意見を本当に多くの方からいただいています。特に、自分のチームのことを熱心に  
考え、もっと強くしたいと思っていらっしゃる先生からは休みにしないでほしいという意  
見があります。

ただ、多くの先生方が長時間働いていることは事実です。部活動もありますが、授業に  
大きな支障があってははいけません。先生が体を壊されたら元も子もないという思いでもあ  
ります。

能美市だけが休みにしてしまうと、能美市の部活動だけが弱くなってしまうので、県内  
全域で土曜日か日曜日のどちらかを休みにして、様子を見ています。始まったばかりなの  
で、しばらく状況を見て、土日は休みにしないほうがいいのかという声が高まっ  
てきたら、そこは見直しをしたいなと思っています。今はまず、先生の過剰労働を少し下  
げようと取り組んでいますので、もうしばらく様子を見ていただければ幸いです。

## ⑥高齢者福祉の充実

### 【司会】

次のテーマは、高齢者福祉の充実でございます。

### 【上徳山町民】

徳山町は過疎化が進み、高齢者中心の限界集落となってきました。獅子舞や4人つきの  
餅つきなどの伝統文化がありましたが、なくなりました。町内作業に関して、道草刈り、  
川刈り、神社の清掃などにぎりぎりの人数で作業するような状態です。このままでは町内  
会の維持もままなりません。町内の高齢者のために移動スーパーや元気に集まれる移動カ

フェ、交通手段の確保、減反田の利用や里山の活用など、行政にしてほしいことはたくさんありますが、せめて町の公民館で月に1度、高齢者が集まれる憩いの場を持つために助成をしてほしいと思います。

**【井出市長】**

このご意見もいろんなところからありまして、能美市では高齢者の方にいつまでも元気で明るく暮らしていただけるように、いろんなプランを用意しております。

例えば、のみ活倶楽部といって、市の職員がインストラクターになって町内にお邪魔して、運動、食事、脳トレ、笑いを取り入れた教室を、行っていますので、またぜひ申し込んでいただければと思います。

もう一つ、社会福祉協議会のほうでいきいきサロンをしています。市や社会福祉協議会に問い合わせいただければ、丁寧にご案内しますので、いつでもご連絡いただければなと思います。

**⑦人や自転車にやさしい道路の整備**

**【司会】**

人や自転車にやさしい道路の整備についてご意見、ご提案はありますか。

**【下徳山町民】**

下徳山は周りを山で囲まれているところなので、草刈りをよくします。現在、道のところは土木課をお願いして、業者の方が年に2回ぐらいしてくれており、大変ありがたく思っています。しかしのり面などは、草が残ってしまうため業者に任せるだけでなく、市に少しお金を少しだしてもらい、自分たちですればいいのではないかという話がでできます。しかし、事故などの危険があるため、市はこのやり方を認めていません。

ただ、やっぱり地元の人がそういうことをやると、自分たちがきちんと整備しているという意識が出てくるのではないかと思います。私の町では平成24年から農政課に助成してもらい道路斜面のところに芝桜を植えだしました。5年が経ち、いい雰囲気になっているね、という声も聞きます。強制的に各町会でやりなさいというのはなく、やりたいところにしてもらう方がいいのではないかと思います。

**【井出市長】**

すばらしいご提言をありがとうございます。

草については正直頭を抱えています。本当によく伸びますし、平地だけではなく、河川の草も何とかしてほしいと、ご要望をたくさんいただいています。よう伸びますし。なんとかしなければならぬと思っています。今、道路里親制度というものがあり、道路ごとに企業や団体にその道路の里親になってもらい、地域の住民の皆さんと一緒に管理してもらえないかということ、普及させようとしています。下徳山の道路の里親になってもらえる人も見つけることを一生懸命努力しますので、何とか町会長、ご協力いただきますようお願いいたします。

#### 【三ツ屋町民】

私の世代より少し上の方は、車を運転できない方が多く自転車やあるいていらっしゃる方が多いのです。自転車に乗っている人から、三ツ屋から産業道路に抜ける道の歩道は段差が多いという意見をよく聞きます。その道路の段差の状態が一番悪いと言っていました。私も1回試してみましたが、がたんがたんという感じで、たしかにとっても走りづらいです。

私が思ったのは、以前大阪で自転車に乗ったときは、全然大差がなく、きれいに整備されていました。歩いている方や、子供を自転車に乗せたお母さん方がとても多かったです。能美市では学生の子供たちが部活の行き帰りに自転車を使っています。また、高齢者で電動自転車を使っている方をたまに見かけます。やさしい道路ということであれば、ぜひ一度歩道の状態を見ていただきたいです。

#### 【市民】

私、免許証を返納してから自転車に乗っていますが、その道路は木の根が出てぼこぼこになっているようなところがあります。車道はいつもきれいにしてありますが、歩道は全く整備されていません。タイヤが裂けてしまいそうなところもあります。

【井出市長】 自転車は道路を走ることがあり、歩道に自転車が乗り入れてはいけない場合もありますが、歩道を見に行き、確認したいと思います。

#### 【火釜町民】

私は自転車で通勤していますが、道路に自転車用の区分けをしてほしいと思います。金沢市内では道路に自転車のマークが書いてあり、そこは自転車が通ってもいいということになっています。それから、農免道路で上水道の修復をしたあとに、掘った跡を舗装してあるのですが、もうがたがたで走れません。何とかしてほしいと思います。（火釜町から

手取川のほうに向かっていったところ、宮竹用水の横の道路で、岩内の上のほう、火釜の上、山田のところを歩いていく道路のこと)

【井出市長】

能美市内の中で道路の区分けが可能かどうか調べたいと思います。

それから、道路が傷んでいるところというのは、補修がきちんとなっていないということだと思いますので、1回見直しさせます。

⑧その他

【司会】

それでは、その他で、この地域ならではの課題について、ご提案、ご提言はありますか。

【上徳山町民】

以前、能美市で水不足ということがあったかと思います。節水という話もありましたが、水がないと人も企業も集まってきません。能美市で、手取川の流域で、水が不足するということが少しショックを受けました。

水は非常に大切です。また、能美市の発展のためにも水は非常に大切な資源です。近いうちに市長さんは小松市と地下水の治水について何かお話しをされるということですが、能美市の貯水、水の供給について、どのように考えていらっしゃるかお聞きします。

【井出市長】

私も能美市に生まれ育って、まさか能美市が水で苦勞するとは思いませんでした。本当に私もびっくりしています。原因についていろいろとされていますが、一つは、雨が少ないことです。今年は梅雨入りしましたが、平年よりも遅く、雨の量が少ないということが、いわゆる伏流水を少なくしている最大の理由だろうと思います。

自然のことであり、それをどうするかということになりますと、なかなか手が打てないということもあり、県水を利用していくということになりました。それだけでは不安な面もあるので、井戸を新しく掘って、供給をしているということで、この水不足を何とかしのごうと思っています。また、企業さんにも、節水の協力をしていただいております。

それから、今までは水というものを売りに企業誘致を進めてきましたが、今後は、これだけ水不足の心配をしていますので、水を売りに企業誘致を進めていくということはなかなか難しいのではないかと思います。そうすると、交通の利便性がよい、優秀な人材がたくさんいるというようなところで企業誘致を進めていこうと思っています。そして小松市

との交渉のお話については、まずは担当者ベースから話をしっかりと積み上げていって、もし私が出て行く必要があれば、小松市さんと話をしていきたいと思っています。

#### 【荻生町民】

熊問題に対する対策についてという課題でお聞きします。人里に頻繁に熊が出没するようになって久しいですが、近年はその頻度も増し、出没場所も徐々に人里におりてきているように感じられ、私たち荻生町民も毎日不安を感じながら生活している状況です。

先月も荻生町に近いコンビニエンスストア付近で小熊の目撃情報があり、私たちの日常生活の範囲にまで当たり前のように熊が出没する現実に、改めて驚いているとともに、弱者である子供や高齢者の日常の危険についても、さらなる対策が必要ではないかと感じています。

能美市では、捕獲用おりの設置や日常の注意喚起、出没時の呼びかけなど、熊の出没に対する対応は行っていただいておりますが、どれも対処的なものです。もっと基本的に人の生活圏に熊がおりてこないようになる政策も検討する必要があるのではないのでしょうか。

#### 【井出市長】

本当に大切な問題であり、最近、熊の目撃情報が多くなっています。

どうやって防ぐかということですが、狩猟者の人数をもう少しふやして、熊に対して威嚇をして、人里に入ってくると恐いとおもわせる活動をさらに広げていこうという計画をしております。

それから、能美市が持っているおりは10基ありますが、それを3基ふやし、できるだけ熊をつかまえることもやりたいと思っています。

それから、やはり緩衝帯の整備をしていかなければならないという思いもあり、これは能美市単独ではなかなかできないため、県や近隣市町とも協力し合って、人里のほうに熊がおりてこないような対策も強化していきたいなと思っています。

#### 【司会】

最後に、井出市長からきょうの感想を踏まえてご挨拶をお願いします。

#### 【井出市長】

皆さん、きょうはありがとうございました。もっともっといろんなご意見、ご提案をし

たいという方もいらっしやっただと思います。それから、もっとこんな話も聞きたいと思っ  
た方も大勢いらっしやるのだらうなと思います。今後、冒頭申し上げましたように、テー  
マ別でタウンミーティングもしたいという思いや、ことしだけではなくて、来年もしたい  
という思いもあります。

それから、このタウンミーティングだけが私にいろんなことをお伝えしていただく場  
はありません。皆さんの地域からは市の庁舎が近いので、ぜひ、お越しいただければと思  
います。

いずれにしましても、市民ファースト、現地現場主義を忘れず、皆さんとともに市政の  
発展に努めていきたいなと思っています。きょうはありがとうございましたというお礼を  
申し上げて、閉じさせていただきます。

**【司会】** それでは、最後に辰口地区連合会副会長様から閉会のご挨拶をお願いいたしま  
す。

**【辰口町町会長】**

皆さん、きょうは本当に大勢の方に集まっていただいて、そして、いろんな意見を出し  
ていただきましたが、きょうで終わるわけではありません。市長の取り組んでいきたいと  
いう熱意が見られました。皆さんの熱意も見られました。これからも行政、町民の皆さん  
一体になってキャッチボールをするように意見を出し合って、今後進めていったらよいの  
ではないかと思います。きょうはありがとうございました。